## 平成19年度

# 兵庫県立農林水産技術総合センター 年 報 (農業編)

兵庫県立農林水産技術総合センター

# 目 次

ļ	桕	0.000000000000000000000000000000000000	
1	位	置······	1
2	土均	也・建物	1
3	予	算	1
4	機	構	2
5	職	員	5
	(1)	職員数	5
	(2)	職員一覧	6
11	業	務	
1	試騎	· 可究······	9
	(1)	項目一覧	9
	(2)	主要な成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
	(3)	新規に実施した業務	48
2	普及	活動	60
	(1)	普及指導員の資質向上	60
	(2)	生産振興・地域農業の推進<専門技術員調査研究>	61
	(3)	食品加工流通部の技術普及業務	66
3	教育	· 研修······	67
	(1)	養成部門	67
	(2)	研修部門	69
Ш	業	積	
1	普及	に移した新技術	73
2	セン	ター研究報告に掲載した事項	76
3	ひょ	うごの農林水産技術に掲載した事項	77
4	外部	に発表した事項	79
	(1)	学会誌等	79
	(2)	学会等講演会	80
	(3)	研究会報・資料集等	82
	(4)	研究会(大会・研究会)等講演	82

	(5)	ニュース・情報誌等	88
	(6)	雑誌等	89
	(7)	技術書籍等	90
	(8)	新聞	91
	(9)	テレビ・ラジオ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	92
5	試懸	研究成果発表会	93
6	種苗	i 登録出願・登録状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	96
7	特討	F・実用新案出願・登録状況······	97
8	表章	<ul><li>ジ・受賞・研究業績等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	101
9	研究	<b>2</b> 員の派遣	102
10	研修	※生・見学者の受入れ	103
	(1)	研究員受入要綱に基づく受入れ	103
	(2)	県立高等学校農業科 10 年経験者研修	103
	(3)	スーパーサイエンスハイスクール	103
	(4)	トライやる・ウイーク体験事業	103
	(5)	受託研修・兵庫県国際交流協会からの依頼による研修二受入れ・・・	103
	(6)	見学者の受入れ	104
11	資格	各・認定研修への講師派遣	105
12	出周	页物	106

#### 1 試験研究

(1) 項目一覧 ア 国庫助成・受託

(\*印 抄録掲載)

		(*口 抄球的軟/
名	研究期間	担当
 有機質資源連用試験	平 10~	環境部
(1) 水田 (水稲栽培) における土壌の変化と生育・収量		
*主要作物のカドミウム吸収・蓄積を抑制するための総合管理技術の開発	平 15 ~ 19	環境部
(1) 兵庫・瀬戸内地域におけるイネ等のカドミウム吸収を最大化するた		
めの栽培管理技術の開発		
*高ミネラル野菜生産のための有機質肥料・資材の効率的施用法	平 17 ~ 19	環境部、園芸部
(1) 野菜の栽培条件とミネラル成分の把握		
(2) 野菜のミネラル向上技術の開発		
(3) 県下主要野菜産地の実態と品質向上技術	亚17 10	   環境部、作物・経営機械部
*近畿地域の水稲の環境負荷低減化技術の体系化と負荷予測モデルの開発	平 17~19	块块面、作物、柱名成成面
(1) 環境負荷の少ない除草技術の開発		
(2) アブラナ科緑肥活用による化学肥料削減技術		
(3) ため池用水活用による減肥技術 *野菜の品目別カドミウム濃度の解明と濃度低減技術の開発	平 19 ~ 21	   環境部
*野菜の品目別カトミリム濃度の解明と濃度低減投制の開発 (1) 野菜の品目別・品質別カドミウム濃度の解明	7 19 - 21	水·克口
(1) 野菜の面目が、面質がカドミウム優度の評例 (2) 野菜のカドミウム吸収抑制技術の開発		
* DNAマーカー等を利用した効率的な病害抵抗性黒大豆品種の育成	平 19~23	生物工学部
(1) ダイズ茎疫病抵抗性黒大豆品種の育成	13 20	
(1) フィス室板が低光性黒大豆品種の育成		
(3) ほ場における選抜と育成系統の実用化試験		
*丹波黒エダマメ剥き豆の新食品素材の開発	平 18~19	食品加工流通部
(1) 原料特性に応じた剥き豆処理条件の確立		
(2) 剥きエダマメ食品と食材の開発		
*水稲生育予測に基づく広域分散圃場の効率的農作業管理システムの開発	平 19 ~ 23	作物·経営機械部、病害虫
(1) メッシュ気象、GIS圃場場管理データーによる圃場ごとの生育		防除部
予測システムの開発		
(2) クモヘリカメムシの発生予測システムの開発		
(3) 両システムを統合した圃場管理システムのプログラムの開発と現		
地適用性実証		
閉鎖型育苗方式によるトマトの完全無農薬優良苗生産技術の開発	平 18 ~ 20	園芸部
(1) 閉鎖型育苗施設を利用した安定苗生産技術の開発		
(2) 低段どり栽培による周年作付け体系の確立	T- 10 00	国 +1: >0 /6-16- 47/25-146+1->0
キャベツ大玉系品種を利用した業務用低コスト安定供給技術の開発	平 18 ~ 20	園芸部、作物·経営機械部
(1) 大玉系品種を利用した秋期、冬期、初夏期安定生産		
(2) 業務用キャベツ生産に対応できる省力、低コスト型施肥体系の確		
(a) 1974 1 a 1+ 12 + 12 0 (b) + 11 (b) 7		
(3) 収穫から流通までの省力化体系 イチジクの 5 倍密植栽培の長期安定生産技術の開発	平 18 ~ 22	   園芸部
1 テンクの 5 倍密値栽培の長期安定主産技術の開発 (1) 5 倍密植栽培の長期安定生産技術の開発	10 22	图 云 印
(1) 5 倍 名 恒 秋 日 り 及 別 女 足 土 産 文 州 り 伊 元 (2) 5 倍 密 植 に 適 し た 優 良 品 種 、 系 統 の 選 抜		
(3) 苗木生産システムの開発		
(4) 水分管理の適正化による高品質果実の生産		
丹波栗のブランドカ向上を目指した大栗の安定生産技術の開発	平 18 ~ 22	<b>園芸部</b>
(1) 大果、多収「銀寄」系統の選定		
(2) 「銀寄」の安定生産の適した整技法の確立		
(3) 効率的かん水により大果の安定生産		
(4) 温湯処理果実の品質向上技術		
* セル成型苗等小苗を活用した底面給水によるイチゴ炭疽病回避生産体系	平 19 ~ 20	園芸部
の確立		
(1) セル成型苗等小苗の大量生産技術の開発		
(2) 底面給水による炭疽病回避技術の開発		
*鉢花・花壇苗の品質保持技術の開発	平 19 ~ 20	園芸部
(1) 店持ち性向上のための鉄供給による葉の黄変抑制技術の開発		
(2) 花壇苗におけるエチレン感受性と落花・落葉防止技術の開発		

	名	称	研究期間	担	<u>1/</u>
(0)		が定植後の花壇生育に及ぼす影響			2.7
		が定他後ッパで登上 同に及ばす が音 菌オルピディウムによる媒介機構の解明	平 18 ~ 19	病害虫防除部	
	R値初りイルスの工場主息 i除法の開発	(困っかこ)「クムによる殊力候性の所の	10 13	에 다 그것이 Will	
	所法の開光 単離と分離株の収集				
	感染条件の検索				
	純粋培養系の構築				
	感染を阻害する天然活性	物質の検索			
	簡易検出法の開発	10 34 · > 172 N		, ,	
		を利用した新防除システムの開発	平 18 ~ 19	病害虫防除部	
	忌避物質の製剤化		·		
	忌避製剤の効果実証				
	総合的な防除体系の構築				
		るうどんこ病・灰色かび病の物理的防除技	平 19 ~ 21	病害虫防除部、	食品加工
術の開				流通部	
(1)	近紫外光 (UV-B) 照射に	こよる植物病害発生抑制技術の確立			
(2)	近紫外光(UV-B)照射に	こよる施設野菜病害防除及び果実品質向上			
	の実証				
(3)	近紫外光 (UV-B) 照射に	こよる施設イチゴ病害防除の作用機構の解			
	明				
	と薬の簡便で効果の高い施		平 19 ~ 21	病害虫防除部	
	ペレット化種子の使用条	件の検索・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	ペレット種子の効果検定			V. London I. L. offin Mr. Lore	
	ソンの高温対策による長期		平 19 ~ 21	北部農技農業部	
	耐暑性品種及び各種資材				
	樹勢維持のための栽培管	理技術			
	現地実証試験			واجل ميليد وشي	
	の求める美味しい牛肉の		平 14 ~ 19	家畜部	
		間の美味しさ成分への影響の検討			
	美味しさに関する成分の				
		ける光学的技術の応用性の検討			
	美味しさ成分の遺伝的影				
		美味しさ成分へ与える影響			
	美味しい牛肉の評価基準	の美用化への検討 <b>育成期の飼養管理法の確立と実証</b>	平 17 ~ 21	北部農技畜産部	
			十17~21	心印版1人田庄印	
	育成前期の飼料給与方法 育成期における高蛋白粗				
		ルイモーテカムの使引 子牛の発育改善技術の開発			
(3) (4)	和子牛の人工哺乳による				
( - /		光月以音が木の天記 生体情報監視システム技術の開発	平 16 ~ 20	淡路農技畜産部	
		と栄養状態や疾病との関連性	1 10 20	[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	
	飛収体板がらの主体情報 酪農家における産後疾病				
(-,	近赤外線分光法による生				
(0)	近小小小水刀儿伍仁云心.1.	件 情 我们还在 > / / / / /			
《プロジ	ジェクト研究》				
		のための総合管理技術の開発	平 17 ~ 21	作物·経営機械部	、食品加
, , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		根腐病)の総合管理技術の開発		工流通部、病害!	
(2)		な栽培管理・施肥法の確立		北部農技農業部	
		乾燥方法と労働環境の確立			
· - /		質・内容成分に及ぼす影響			
				1	
1	県単			(*日	抄録掲載)
		称	研究期間	担	当
<u></u>				平野·连立[7	
先端技	な祈による県特産品の品種	判別、産地判別技術の開発	平 16 ~ 20	環境部	

先端技術による県特産品の品種判別、産地判別技術の開発平 16 ~ 20環境部(1) 産地判別技術の精度向上のための調査(2) 簡易な産地判別技術の開発(3) 有機化合物等による産地判別技術の開発	名	研究期間	担	当	_
	(1) 産地判別技術の精度向上のための調査 (2) 簡易な産地判別技術の開発	平 16 ~ 20	環境部		_

名	称	研究期間	担当
*蒸気散水処理等による土壌リフレッシ (1) 蒸気散水処理による土壌リフレ (2) 小型ボイラ等による簡易熱水浴	ィッシュ化技術の検討 対毒技術の検討	平 17 ~ 19	環境部、園芸部
(3) 蒸気散水処理によるリフレッシャ農林水産業から排出される有機未利用 (1) 乳牛ふんの高品質堆肥化処理技 (2) メタン発酵残渣及び堆肥の炭化 (3) 低窒素放出型堆肥の開発	目資源の再利用技術の開発 技術の開発	平 17 ~ 19	環境部、淡路農技畜産部
*大型イネ科植物による重金属汚染土壌 (1) カドミウム多吸収イネ科植物の	)検索	平 18 ~ 19	環境部
(2) カドミウム吸収を促進させる果 地域特産作物における農薬動態解明と (1) 地域特産作物の農薬残留特性の (2) 残留基準値を超えない使用法の	: 安全使用技術の開発 )把握	平 18 ~ 22	環境部
*施設栽培土壌における蒸気消毒後の土 作物栄養試験	壤撥水性改善対策	平 19	環境部 環境部
(1) 水稲・麦に対する堆肥及び三要 (2) 水田における堆肥及び化学・有 農業公害対策試験		継続 継続	 
*(1) カドミウム高吸収イネの栽培、 農業環境改善試験 *(1) アブラナ科非結球葉菜類の残留	•	平 19 ~ 21 平 17 ~ 19	環境部
(1) アプライヤチ和球菜来類の95年 イオンビームを利用した花きの新品種 (1) キクへのイオンビーム照射によ (2) ハボタンへのイオンビーム照射 (3) スイートピーへのイオンビーム	<b>値作出</b> ∶る新品種作出 けによる新品種作出	平 17 ~ 19 平 18 ~ 20	生物工学部、園芸部
*地域特産の栄養繁殖性花き・野菜の組 (1) 栄養系リンドウの生産力低下原 (2) 無病株育成技術の開発(リント (3) 組織培養系統の変異評価と優良	織培養技術による収量・品質の向上 [因の究明 「ウ、アッツザクラ)	平 19 ~ 21	生物工学部、園芸部、淡路 農技農業部
ツザクラ) *県内産丹波黒大豆におけるDNAマー 生物工学応用試験		平 19 継続	生物工学部 生物工学部
<ul><li>(1) 地域特産作物の大量増殖技術の 有用植物遺伝資源の収集保存試験</li><li>(1) 有用植物の品質・系統の収集と</li><li>(2) 各種病原微生物の収集と保存</li><li>(3) プラスミド等遺伝子の保存</li></ul>		継続	生物工学部
(4) 抗体産生細胞株の保存 *岩津ネギの高品位安定出荷流通技術の (1) 収穫時期・貯蔵条件と品質	確立	平 17 ~ 19	食品加工流通部
(2) 高品質・安定出荷技術 *イチジクの高品位出荷流通技術の確立 (1) イチジクの収穫適期判定基準の (2) イチジクの高品位輸送技術の確 (3) イチジクの鮮度保持技術の確立	<b>確立</b> E立	平 19 ~ 21	食品加工流通部
*地域特産「手作り味噌」の品質改善 新製品開発試験 (1) 農産物の品質評価技術 (2) 農産物の品質保持・貯蔵技術	•	平 19 継続	食品加工流通部 食品加工流通部
(3) 農産物加工技術(加工適性評価 *中国広東省との共同研究による安全・ 性品種の育成 (1) 遺伝子の集積による良質、良食	安心な米づくりのための病害虫抵抗	平 15 ~ 19	作物·経営機械部
(1) 風伝子の架積による長負、長長 (2) 日中交雑後代選抜並びに戻し交 食味品種の育成 (3) 育成系統の早期実用化			

名		研究期間	担 当
		平 18 ~ 22	作物·経営機械部(酒米試
(1) 有望系統の栽培及び酒造適性		10 22	験地)、生物工学部、食品
(2) DNAマーカーを利用した高品	品質洒米育種素材の開発		加工流通部
作物品種改良試験	田黄田小日 医聚丙 5 四元		作物・経営機械部
(1) 水稲新品種育成試験		継続	
(2) 新品種栽培特性の検討		継続	
作物栽培法改良試験			作物・経営機械部
(1) 気象感応調査		継続	
*(2) 農業特産品開発を支援する新	乍物導入試験	平 18~19	
*(3) 雑草対策試験		平 19	
(4) 小麦「ふくほのか」の高品質	多収施肥法の確立	平 18 ~ 20	
原原種は設置(水稲、麦、大豆、酒	米)	継続	作物·経営機械部、作物·
			経営機械部(酒米試験地)、
			北部農技農業部
奨励品種決定基本調査(水稲、麦、:	大豆)	継続	作物·経営機械部、北部農
			技農業部
*都市近郊型カットキャベツの機械収	穫・省力出荷体系の検討	平 18 ~ 19	作物・経営機械部
(1) 全自動収穫機+自動追従型運			
(2) 機械収穫システムの確立			
*携帯式生育情報測定装置の活用方法		平19.	作物・経営機械部
*丹波黒大豆用収穫機の開発・改良		平 19	作物・経営機械部
農業経営試験			作物・経営機械部
(1) 消費者評価を活用した産地育	成手法の解明	平 18 ~ 20	
*(2) 農業におけるマーケティング		平 17 ~ 19	
農業機械化試験			作物・経営機械部
*(1) 丹波黒大豆のコンバイン収穫	技術	平 19	
*(2) タマネギ収穫球の大型コンテ	ナ乾燥技術の開発	平 19 ~ 21	
酒米改良試験			作物·経営機械部 ( 酒米試
(1) 酒米の気象感応調査		継続	験地)
(2) 酒米新品種育成試験		継続	
*(3) 地球温暖化条件下における酒		平 17~19	
<b>*</b> (4) 紫黒米品種「兵系紫 75 号」 <i>0</i>		平 19 ~ 20	
*収穫サイクルの短縮による家庭用切		平 16 ~ 19	園芸部、淡路農技農業部
(1) 採花母枝の切り戻しによる収			
(2) 整枝法改善による短茎多収技			
(3) 収量倍増のための組み立て実	証と経営評価		[E7] #1- 4-17
キク切り花の正月、3月の彼岸の需		平 18 ~ 20	園芸部
(1) 寒ギクを利用した年末、3月			
(2) 夏ギクを利用した3月彼岸出			
(3) 周年供給のための栽培マニュ	アルの作成と現地実証		PET 11: 40
野菜園芸改良試験		T 15 10	園芸部
* (1) 軟弱野菜における有用微生物		平 17~19	
(2) 果菜・葉根菜類の作型別適品	種の選定と栽培法の改善	継続	国 共 如
花き園芸改良試験		F 17 00	園芸部
	働によるキクのオリジナル品種育成	平 17 ~ 20	
(2) 新花壇苗の探索		平 13 ~	展 类 並
果樹園芸改良試験	745-1	₩ 10 00	園芸部
(1) ブドウの省力安定生産技術の		平 18 ~ 20 平 12 ~	
,	けた優良品種地域適応性検定試験	+ 12 ~	園芸部(薬草試験地)
薬草改良試験		平 19	四五印(米干叭状地)
*(1) トウキの増収技術の確立		平 19 平 19	園芸部
*ナス科野菜の特性検定試験	の総合は除計等の協立	平 18~20	
アブラナ科野菜のキスジノミハムシ		1 10 ~ 20	内古其例体即
(1) キスジノミハムシの生態的調	宜		
(2) 各種防除法の検討			
(3) 総合防除体系の確立	コナジラミに針さる味吟汁の思路	平 19 ~ 21	病害虫防除部
*ハウストマトにおける薬剤抵抗性タバコ	コノフノミに刈りる別味広り用来	7 19 - 21	시 다 고사에 에 대
(1) 発生実態の把握			

名	称	研究期間	担 当
(2) 有効な防除法の検討			
(3) 総合防除体系の確立			
*トマト黄化葉巻病(TYLCV)発生	三地域の緊急調査 コープログラ	平 19	病害虫防除部
病害虫防除試験 (1) 温暖化に伴うナス科青枯病の排	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	平 18 ~ 20	│ 病害虫防除部 │
*(2) イネにおけるIPM防除体系の		平 17 ~ 19	
(3) ナシ黒星病に対するリスク低洞		平 18 ~ 20	
*(4) セジロウンカの薬剤感受性検定		平 19	
<b>*</b> (5) 有効資材によるイチゴの空気伝	5染性病害の防除方法の検討	平 19 ~ 21	
* ポスト「二十世紀」梨の選定と省力制	战培実証	平 16 ~ 19	北部農技農業部
(1) ポスト「二十世紀」梨の選定			
(2) 省力・省農薬栽培の実証	r (	-Tf 10	11. 27. 由 44. 由 安 27.
*県内丹波黒大豆の裂皮の発生メカニス *傾斜地におけるニホンナシ「おさゴー		平 19 平 19 ~ 23	北部農技農業部 北部農技農業部
(1) 「おさゴールド」の密植・2本		+ 19 ~ 23	<b>儿</b> 司辰仪辰未司
(2) 大果・省力生産技術の開発	工权权相权的专用		
(3) 傾斜地での密植栽培技術の開発	<u>\$</u>		
但丹地方における主要農作物の品種並			北部農技農業部
(1) 水稲気象感応調査		継続	
*(2) 県北地域における「ヒノヒカリ		平 19.	
*(3) 大規模屋上緑化技術の開発とま		平 18 ~ 19	
(4) 在来種セル成型苗及びマット苗		平 18 ~ 20	
*(5) ヤマノイモの種芋腐敗の原因究 *(6) 高原ダイコン栽培における難防		平 17 ~ 19 平 18 ~ 19	
*(7) 県北部における小麦新品種の栽		平 19~21	
*梨等地域特產果樹改良試験	くている人	1 19 21	   北部農技農業部
(1) ナシ気象感応試験		継続	Hourset Xite Me ale
(2) 但馬丹波地域に適するナシ品種	重の選定	平11~	
* (3) 観光・オーナー制向け省力リン		平 16 ~ 19	
*収穫サイクルの短縮による家庭用切り	り花専用生産技術の開発(カーネー	平 16~19	淡路農技農業部、園芸部
ション、バラ)	3 √√		
(1) 短茎収穫法による増収技術の開 (2) 短茎収穫法に適した新整枝技術			
(3) 開花予測技術の開発	1 マン JHJ <del>JE</del>		
(4) 電照による増収技術の開発			
(5) 技術マニュアルの作成と実証			
*環境に優しいレタスの生産体系の確立	<u>-</u>	平 17 ~ 19	淡路農技農業部、作物·経
(1) 減農薬・減肥料栽培に適する品	品種の選定と裁植方法の改善		営機械部、淡路農技畜産
(2) 畦内局所施肥法による減肥化	17 Martin da de la 170 de 180 de 180 de 1		部
(3) 省力的なトンネル換気法による			<b>Y</b> <sub>30</sub>
(4) 高圧ナトリウム灯による夜蛾類 (5) 新しい生産体系の組み立てと紹			
*レタスビッグベイン病の汚染程度に対		平 18 ~ 19	   淡路農技農業部
(1) 耐病性と商品性の高い品種の検		10 10	17, DELINE IX IV DI
(2) 薬剤の効率的、効果的施用法の			
(3) 発病程度の低減をめざした輪作	=体系の検討		
	度) に対応した防除技術のメニュー		
化			No the district of the Nike Line
レタスベと病の多発要因の究明と防除	対策	平 18 ~ 20	淡路農技農業部
(1) 発生生態と伝染経路の究明 (2) 防除対策技術の確立			
カーネーションの2年切り栽培と高	島期の品質向上による周年出荷技術	平 18 ~ 20	   淡路農技農業部
カーホーションのと年切り栽培で高が 開発	三字 できょう ちょうけい イン・ラード こうかい	1 10 20	
(1) 株切り返し技術の開発			
(2) 施設内昇温抑制技術の開発			
(3) 時期別土壌養水分の検討			
(4) 耐高温性品種の選定	•		
(5) 技術の実証評価 			

名	称	研究期間	担当
*タマネギ育苗の災害回避・生産安定	技術の開発	平 19 ~ 21	淡路農技農業部
(1) 播種期の遅延が生育及び生産			
(2) 播種期遅延時の移植方法と施具			
(3) 播種期遅延時の現地実証と作		EF 10	・ より 曲 4+ 曲 光 ヴ!
*タマネギ機械移植精度の低下原因の		平 19	淡路農技農業部 淡路農技農業部
淡路地域における園芸作物品種栽培語 (1) 特産及び新特産野菜の種類、		継続	次始展汉辰未即
*(2) タマネギ輪作体系における施		平 19 ~ 22	
*(3) レタス萎黄病防除技術の検討	心妖音	平 17~19	
	量、品質及び土壌の変化に及ぼす影響	継続	
(5) カーネーションの品種の育成		継続	
(6) スイートピーの品種育成		平 17 ~ 20	
*(7) センリョウの実落ち症及び立		平 17 ~ 19	
*(8) タイヤプランターを用いたカンキン		平 18 ~ 19	
(9) 新特産果樹の種類及び品種の		継続	والماء الحاجب والماء
*但馬牛理想肥育牛の発育生理に基づ		平 15 ~ 19	家畜部
(1) 導入時及び肥育前期の栄養状態			
	肥育初期給与エネルギー水準の検討		
(3) ビタミンA給与制限期間の検 (4) タイプ別飼養マニュアルの作			
(4) タイプ別飼養マニュアルの作り 但馬牛肥育牛における脂肪壊死症の		平 16 ~ 20	   家畜部
(1) 育成牛の栄養状態の把握方法(		10 20	≫ 田 □Þ
(2) 育成期の栄養状態と脂肪壊死			
(3) 肥育前期の栄養状態と脂肪壊			
(4) 脂肪壊死症を発症させない飼			
安全・安心に配慮した家畜飼養管理	技術の開発	平 18 ~ 22	家畜部
(1) 抗生物質に代わる代替物質の	効果検討		
(2) 有効代替物質による添加割合			
(3) 有効代替物質による抗生物質			وربله منظم بربان
但馬牛の霜降りモモ肉の生産技術と		平 18 ~ 22	家畜部
(1) モモぬけに及ぼす遺伝的影響			
(2) モモぬけを簡易評価するため。	の超音波画像解析法の開発  技術の確立とモモぬけの制御法の開発		
(3) モモぬけを向上させる飼養管理 但馬牛における経済形質に関わるゲ		平 18 ~ 22	家畜部
(1) <b>優</b> 良ハプロタイプの効果検証	ン A 所 101	1 10 22	次 田 印
(2) 遺伝的能力に優れた種牛の作	FH.		
*「ひょうご味どり」のゲノム解析に		平 19 ~ 23	家畜部
	死亡割合のQTL解析のための実験		
家系の造成			
(2) モモ肉割合、体重及び腹腔内	死亡割合のQTL解析		
(3) 「兵庫」の品種固定と交配実証	E試験		
*繁殖和牛に対応した飼料イネの循環		平 16 ~ 19	北部農技畜産部、北部農
,-, ,-, ,-, ,-, ,-, ,-, ,-, ,-, ,-, ,-,	品種選定と収穫時期による飼料成分		技農業部、家畜部
への影響	> 、		
	イレージ給与が繁殖性に及ぼす影響	平 17 ~ 19	   北部農技畜産部、食品加
*植物の機能性成分を利用した和牛給	即法と低コスト巴系原料生産	$+17\sim19$	工流通部、北部農技農業
(1) 紫稲の栽培技術 (2) 紫稲サイレージ給与技術			部
(3) 色素成分の検討			1112
(4) 色素利用法の検討			,
粗飼料多給で良好な発育が可能な和	子牛育成技術の開発	平 18 ~ 20	北部農技畜産部
(1) 粗飼料の種類と組み合わせに			
(2) 粗飼料多給飼育に最適な濃厚	飼料の解明		
受精卵(胚)の遺伝情報を利用した	高能力牛の生産	平 18 ~ 22	北部農技畜産部
(1) 胚による遺伝情報の診断			
(2) 遺伝情報胚の凍結保存技術の		7.00	11
*黒毛和種牛の繁殖成績低下の要因分		平 19 ~ 22	北部農技畜産部
(1) 分娩前後の栄養水準と分娩後	の繁殖成績との関連の検討		

名	称	研究期間	担 当
(2) 繁殖成績改善のための飼養管理技術の検	討		
(3) 繁殖管理マニュアルの作成		:	
*但馬牛の有用機能・経済形質関連遺伝子の効果		平 19 ~ 22	北部農技畜産部
(1) 有用機能関連遺伝子の効果検証			
(2) 有用機能関連遺伝子の遺伝子型を用いた	種雄牛選抜		
新育種手法開発調査試験		継続	北部農技畜産部
(1) 育種価評価による種牛の遺伝的産肉能力			
(2) 但馬牛データベースを効率的に利用する	るためのシミュレーンヨン		
ソフトの開発とその利用法の検討	88 JV	97 17 10	· 淡路農技畜産部
*安全な高品質生乳生産に向けた衛生管理技術の		平 17 ~ 19	次始長汉苗座司
(1) 乳汁中の炎症マーカーを指標とした乳房	号灸の早期診断法及び宿僚		
後の予後判定技術の開発 (2) 自然免疫機能を活性化させる微生物培養	& 物 笙 た 田 い た 劫 里 的 た 子		
(2) 自然免疫機能を荷は化させる  欧土初着 第	変物等で用いた別本的な丁		
(4) 泌乳曲線を平坦化させる飼養管理技術の			
ひょうごブランド牛乳生産技術の開発	1/1/26	平 18 ~ 21	淡路農技畜産部
(1) 生乳生産環境基準の策定			
(2) 生乳品質評価法の開発			
(3) ひょうごブランド牛乳認定農家の検証			
*高能力牛における繁殖効率向上技術の開発と実	証 .	平 19 ~ 22	淡路農技畜産部
(1) 発情発見システムの開発			
(2) 分娩早期発見システムの開発			
(3) 繁殖効率向上プログラムの作成	•		
《プロジェクト研究》			
穀類を原料とした機能性食品の開発		平 18 ~ 20	食品加工流通部、森林技
(1) 糸状菌 (麹)、担子菌 (キノコ) を利用	した機能性付与技術の確立		資源部
(2) 麹・キノコ培養資材の機能性評価			
(3) 新食材を用いた加工食品の検討			11.11. An 22.186.44.50 TPLE 50
*「コウノトリ育む農法」支援技術の開発		平 19 ~ 23	作物·経営機械部、環境部、
(1) 還元条件による雑草防除法の実証並びに	こ水稲収量性の経年変化の		病害虫防除部、北部農技
把握及び実証			農業部
(2) 病害虫の発生実態調査と防除体系の評価			
(3) 「コウノトリ育む農法」の技術組立てと	夫祉 		

### ウ 事 業

(\*印 抄録掲載)

名	称		依	頼 榜	後 関		担当
净水発生土有効活用試験		県	企 業	庁	水 道	課	環境部
地力增進対策診断指導事業		普	及	教	育	課	環境部
農薬残留対策総合調査		普	及	教	育	課	環境部
農用地土壌汚染対策推進事業	Ę	普	及	教	育	課	環境部
(農用地土壌汚染実証ほ設置	<b>置事業</b> )						
県営ほ場整備事業のための当	_壌調査	県	内	各	市	町	環境部
土壌機能増進対策事業		普	及	教	育	課	環境部
ひょうご安心ブランドに係れ	っる残留農薬分析	普	及	教	育	課	環境部
モニタリング調査		普	及	教	育	課	環境部
ひょうごの「食」ブランド打		消	費	流	通	課	食品加工流通部
食品産業・産地連携新製品界		消	費	流	通	課	食品加工流通部
農業加工グループ育成事業		消	費	流	通	課	食品加工流通部
農業機械化対策事業		普	及	教	育	課	作物・経営機械部
アンス また	<b>ī米"供給促進事業</b>	農	産	園	芸	課	作物·経営機械部、食品加 流通部、北部農技農業部

名		依	頼 機	関		担当
原種ほ設置事業 委託原種ほ設置事業 麦・大豆原種生産対策事業	農 農 農	産産産	園 園 園	芸芸芸	果果果	作物·経営機械部(原種農場) 作物·経営機械部(原種農場) 作物·経営機械部(原種農場)
農作物病害虫発生予察事業 農薬危害防止対策事業 難防除病害虫対策事業 病害虫診断対策事業	普普普普	及及及及	教教教教	育育育育	課課課課	病害虫防除部 病害虫防除部 病害虫防除部 病害虫防除部
*家畜人工授精事業 飼料安全性確保対策事業 豚産肉能力直接検定事業 豚産肉能力間接検定事業 自給飼料増産推進対策事業 ひょうご味どり生産力強化事業	新 新 新 新 新 新 新		産産産産産産		課課課課課課	家畜部、北部農技畜産部 家畜部 家畜部 家畜部 家畜部 家畜部
*肉用牛産肉能力直接検定 肉用牛産肉能力現場後代検定	畜畜		産産		課課	北部農技畜産部、家畜部 北部農技畜産部
乳質改善指導事業 乳用牛生産能力向上対策事業 (牛群検定普及・活用促進対策事業)	畜 畜		産産		課.	淡路農技畜産部 淡路農技畜産部
高能力乳用牛供給促進事業 高能力乳用牛增頭対策事業	畜畜		産 産		課課	淡路農技畜産部 淡路農技畜産部

工 受 託

名	称	委 託 機 関	担当
国際協力機構委託研修		(独)国際協力機構兵庫国際センター	環境部
新資材を活用した水稲の の開発	カドミウム吸収抑制技術	三菱マテリアル(株)	環境部
光触媒による簡易型農業廃液処理装置の性能把握		宇部日東化成(株)	環境部
安価で有用な廃棄物肥料 循環型農業の実現		多木化学(株)	環境部
国内未利用資源活用堆肥0	)活用	全国農業協同組合連合会兵庫 県本部	環境部
新農薬応用試験		兵庫県植物防疫協会	作物·経営機械部、園芸部、 病害虫防除部、北部農技農業 部、淡路農技農業部
稲民間育成品種評価のため	の生産力検定試験	農林水産先端技術産業振興センター	作物・経営機械部
稲民間育成品種評価のため	の生産力検定試験	全国農業協同組合連合会兵庫 県本部	作物・経営機械部
大豆民間育成品種評価委託 草の根技術協力事業(地域		フジッコ(株) (独)国際協力機構	作物·経営機械部 病害虫防除部